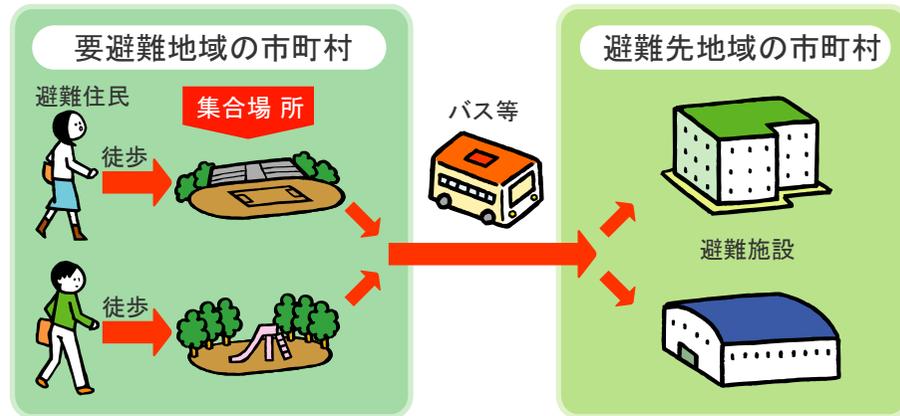


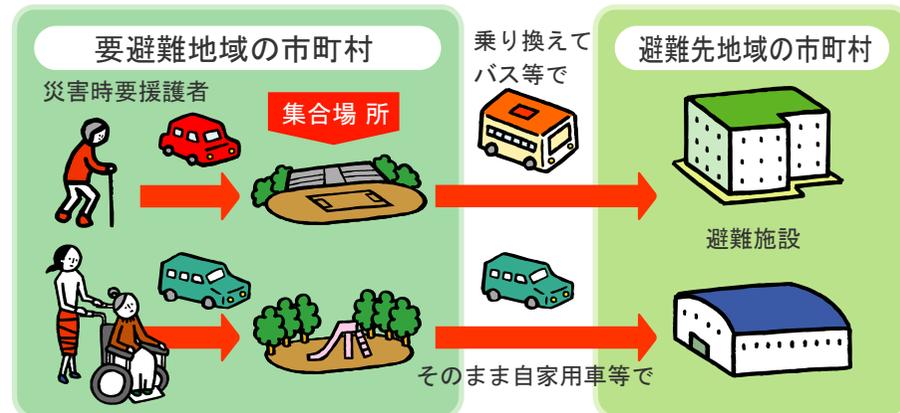
■市町村の区域を越える避難

- あらかじめ指定された集合場所まで、渋滞などの混乱を回避するため、原則として徒歩などにより移動します。
- その後、避難先地域の避難施設まで、バスなどにより移動します。



■災害時要援護者(高齢者、障害者など)の避難

- まず、集合場所に自家用車などにより移動し、次に、事前に把握している災害時要援護者の状況に応じて、以下のいずれかの方法により、避難施設に移動します。



3. 突発的な事態が発生した時

みなさんの身の回りで急な爆発が起こった場合は、以下のことに気をつけましょう。

- とっさに姿勢を低くし、身を守りましょう。
- 周囲で物が落下している場合には、落下が止まるまで、頑丈なテーブルなどの下に身を隠しましょう。
- その後、爆発が起こった建物などからできる限り速やかに離れましょう。
- 警察や消防の指示に従って、落ち着いて行動しましょう。
- テレビやラジオなどを通じて、行政機関からの情報収集に努めましょう。



1 火災が発生した場合

- できる限り低い姿勢をとり、急いで建物から出ましょう。
- 口と鼻をハンカチなどで覆いましょう。
- 体に火がついた場合、水や消火器により火を消しましょう。これらが無い場合は、決して走ったりせずに、手をつけて地面に転がりましょう。



2 ガレキに閉じこめられた場合

- 明るくするために、ライターなどにより火をつけないようにしましょう。空気中の粉じんや漏れたガスに引火して、爆発を起こす恐れがあります。
- 動き回って粉じんをかき立てないようにしましょう。口や鼻をハンカチなどで覆いましょう。
- 自分の居場所を周りに知らせるために、配管などを叩いて音で知らせましょう。粉じんなどを吸い込む可能性があるため、大声を上げるのは最後の手段にしましょう。